

織田萬 オキダ マネ 行政法學者、法學博士。慶應四年七月四日肥前國生乳、  
昭和二十年五月二十五日歿（八六一—九四五）。號鶴陰、鶴陰學人、鶴陰  
萬、鶴陰迂叟。明治二十五年帝國大學法科大學卒。二十九年陸軍經理  
學校教授囑託の資格で歐洲留學。三十一年京都市帝國大學教授となり法  
科創設に參劃。三十六年臨時臺灣清償調査會委員として『清國行政法』  
編纂を主宰、狩野直喜等の助勢を得て全六巻刊行。二十九年『京都法  
學會雜誌』創刊以來編輯主任。大正十年國際司法裁判所事務としてオ  
ランダに在留、翌年國際法學會評議員、歸國後實業民族院議員。またと命  
館大學創立以來教鞭を執り名譽總長の地位にありた。東京空襲で歿。  
鶴陰と號し漢詩を能くこした。

著書に、『常設國際司法裁判所』（大正十五年）二月十日國際聯盟協會  
「國際聯盟協會」パンフレット）、『民族の辯』（昭和十五年）二月  
二十三日文藝春秋社）、『法と人』（昭和十八年四月）二十日春秋社松  
和館「春秋社教養叢書」）等。